

# 川のインストラクター養成講座 in 静岡 (H17 第4回)

(事務局：しずおか流域ネットワーク：<http://www.ryuikinet.gr.jp/shizuoka/>)

静岡での“川のインストラクター養成講座”は、21単位の講座を年間4回に分けて行っています。今回は、平成17年度の第4回を紹介します。



中型バスに乗り移動

参加人員：18名 (+講師・スタッフ 7名)

行程：島田市向谷(天正の瀬替、川狩り、製紙、向谷水神、大井神社)・島田市神座(大井神社)・川根町家山(大聖牛、石の標本作り)・川根本町千頭(昼食、大聖牛)・川根本町大沢(大井神社本宮・井林家)・川根本町沢間(川地蔵、川狩り)・川根本町徳山(徳山城址)・島田市神尾(地蔵峠・居林)

講座内容：( )内は単位数

- ・大井川に学ぶ「流域の伝説を読む・・・」(2)  
(八木講師を迎え、全長185kmにわたる大井川の、歴史的背景を物語る伝説を引用し、流域に暮らす人々の大井川への想いを眺める)  
川の恩恵と畏怖、大井川の水霊と水神伝説(大井神社75社の流着伝説)
- ・土砂循環のメカニズムと石の標本作り(2)  
(秋山講師を迎え、火成岩、堆積岩、変成岩の成立ちと、地質構造体について学習し、大井川中流域の川原にて石の標本作りを行う)
- ・大井川の治水の歴史、伝統的工法、川越し制度、発電、製紙業の発達(1)
- ・ブナ科の植物について 葉やどんぐりを使ったブナ科の植物の見分け方(1)



(向谷水神・大井神社で説明する八木講師)



(石の標本作り指導中の秋山講師)



(車中で発電について説明するスタッフ原)



(伝統工法：大聖牛の前での説明)